



今年も、猛暑続きでとても暑い夏休みとなりました。地震や津波、台風などの災害のニュースが連日報道されておりましたが、そんな中、児童生徒の皆さんはどのような夏休みを過ごしたのでしょうか？夏休みも終わり、今週から児童生徒の元気な声が校舎内に響き渡っています。

さて、進路指導部としては、夏休み中に教職員向けの事業所見学、職員・保護者向けの進路指導研修会、卒業生の定着指導、高等部3年生個別進路相談会という4つの事業を行いました。今号では、その中から事業所見学と進路指導研修会について、その様子をお知らせいたします。



職員事業所見学

毎年夏休みに実施している事業で、今年度、本校に転任してきた職員を中心に、市内の福祉サービス事業所等の見学を行いました。今年は、恵泉会の就労継続支援B型事業所である「若葉園」と「さくらワークス」（東和町米川）、放課後等デイサービスの事業所として「おもちゃ箱とめ」（迫町佐沼）の3か所の見学に行きました。

「さくらワークス」は、県内初の就労継続支援B型事業所として起業し、同じ敷地内にある入所施設のリネン交換やテーマパークで販売するためのグッズ作りなどをしていました。「若葉園」は、元々入所の施設だったところからB型事業に転換。今では、電子部品組立・解体からパンの製造・販売と幅広く事業を展開しています。

「おもちゃ箱とめ」では、利用している児童生徒が室内を元気に飛び回ったり、連日の猛暑を乗り切るために水遊びをしたりしていました。すぐ隣にある民家を改装し、2棟目の活動場所として活用している様子を見学しました。



進路指導研修会

7月29日に本校を会場にして、外部講師の方を招いて、講演会を実施しました。保護者の方にも参加していただき、将来のお金にまつわる講話をいただきました。

演題 『障害のある子の「親なきあと」～「親あるあいだ」の準備～』

講師 「親なきあと」相談室主宰／行政書士・社会保険労務士 渡部 伸 氏

昨年度も障害基礎年金についての講演会でしたが、今年度も、親が活着ている間に準備しておくことと良いことをテーマに、各種制度やその利用の仕方、手続きに係るお話をしていただきました。ユーモアあふれる口調で、ご自身の体験や相談事業における事例を交え、大変分かりやすくお話いただいたので、ご参会の皆様も身近な問題として受け止めることができた方が多かったのではないのでしょうか。

講演後には、保護者の皆様から寄せられた質問にも、適切なアドバイスをいただくなど、大変有意義な時間となりました。その際、障害基礎年金の申請時の留意事項など、受給の可能性を広げる方法についても教えていただきました。

※研修会の内容について、クラスルームでの動画の配信を予定しています。資料も同時に配信しておりますので、ぜひ御覧いただければと思います。

